



山元 幸雄 さん

ゴールポストを竹で 作ったこともありましたね

スポーツ合宿の歴史は長く、28年ほど前、高校生ラグーマンの夏合宿がきっかけで、始まりました。当時、10数年間にわたって、高校生ラグーマンの合宿受け入れに奔走し、スポーツコンベンションの町づくりの機運を盛り上げたのが、西新町在住の山元幸雄さんです。山元さんは、長男が宮之城高校ラグビー部だったことから、父兄会（現保護者会）を結成されました。保護者の熱心な合宿誘致とラグビー部OBの協力により、年々合宿参加校が増え、宮之城町は、高校生ラグーマンの夏合宿地として定着しました。その当時は、グラウンドも整備されず、最初の頃は、宮之城高校と薩摩町のB&Gを借りるなどして、合宿の受け入れをしていました。B&Gには、ゴールポストがなかったため、モウソウ竹でポストを作るそんな状態でした。その後、町

総合体育館やかくや姫グラウンドが整備され、今日まで様々な競技種目の合宿が行われています。宮之城町では、平成5年度に、スポーツ合宿を誘致する体制を充実させるため、町や各種団体などで組織するスポーツコンベンション推進協議会を発足しました。また、薩摩町はこれまで、プロスポーツチームキャンプの受け入れを積極的に行ってきました。今では、「コンベンションタウンさつま推進協議会」としてひとつになり、スポーツ少年団や中・高校生部活の合宿、プロスポーツ団体の受け入れなど総合的なコンベンションタウンが推進されています。コンベンションタウンとしてのまちづくりが、スポーツ合宿やプロスポーツキャンプを通じて、今後更に、発展することが期待されています。



※スポコンとは……スポーツコンベンションの略。コンベンションとは、集会、集まるなどの意味を持ち、スポーツコンベンションは、単にスポーツや合宿の多い町を目指すのではなく、スポーツを通じて、人と人、地域と地域、文化と文化が交流する地場として位置づけて、その交流による人づくり、また経済的な波及効果を図り、町全体の活性化に結びつけていくことです。

夏だ!!合宿だ!!スポコンだ!!

